



長尾よかだより

発行日／2019年7月 発行元／医療法人 順和 理事長／服部 文忠

目次

表紙 検査シリーズ8 地味な検査だが重要

—神経生理学的検査—

P2 新任医師のご挨拶（平川医師）



P3 新任医師のご挨拶（有田医師・野田医師）

P4 CTスキャナ更新のお知らせ

P5 日本認知症ケア学会 大会参加記

検査シリーズ8 地味な検査だが重要－神経生理学的検査－

理事長 服部 文忠

最近、脳卒中などの脳神経疾患の診断においてMRIやCTなどの画像診断が発達し、且つ盛んに使用されるようになり、患者さん方も画像を見る機会が増え、なじみ深くなっています。

一方で、脳波・針筋電図・神経伝導検査・反射機能検査などの神経生理学的検査は地味ですが、重要性が薄れたわけではありません。以下、できるだけ分かりやすく説明します。

【1】脳波

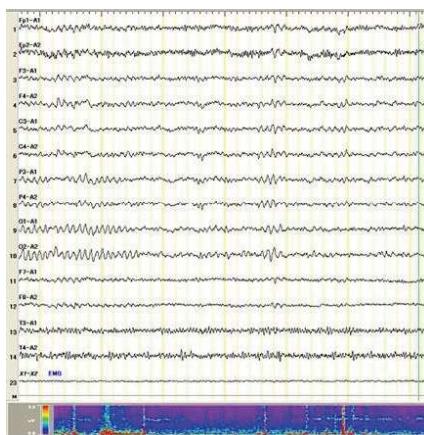
脳波とは、脳内の電気変化を頭皮上から記録するもので『てんかん』（当院では症候性てんかんが多い）の診断・治療に必須の検査ですが、意識障害・不随意運動の診断にも検査されます。

また、けいれんのないてんかん発作で認知症様の症候を呈することがあり、認知症診療においても検査が必要なことがあります。被爆もなく安全に検査できます。

検査を受ける人は頭皮に電極を固定し、安静にしてもらい横になって検査を行います。抗てんかん薬を服用している方は検査

にご協力ください。なお、当院は、2018年10月にデジタル脳波計（日本光電（株）製）へ入れ替え、以下のような3つのメリットが得られるようになりました。

1. 検査時間の短縮
2. 読精度の向上
3. 長期連続記録が可能



▲デジタル脳波

【2】針筋電図

針筋電図とは、筋肉の電気的刺激を記録する検査ですが、針で筋肉を刺して記録し、筋肉の疾患、末梢神経障害、運動ニューロン障害の診断・評価に使われます。それほど長い針電極ではなく、チクッとするくらいの軽い痛みです。



【3】神経伝導検査

神経伝導検査には、運動神経伝導検査と感覚神経伝導検査があります。検査の際、電気刺激を加えるのでこちらも多少チクッときます。

運動神経伝導検査では、検査する神経に刺激を加え、支配する筋肉の活動電位を現した波形の記録をしたり、刺激した電極間の速度を測定します。

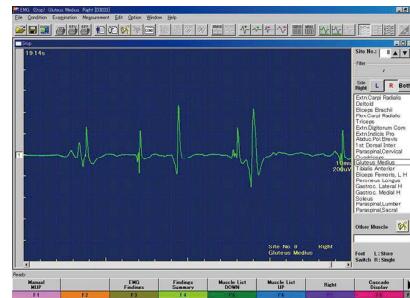
感覚神経伝導速度は、末梢神経を直接、電気刺激して、誘発された活動電位を測定するもので、手足のしびれの診断には大事な検査です。手根管症候群という手のしびれをきたす病気の診断には必須の検査です。

検査をする神経の同定が難しいことがあります。臨床検査技師の能力が問われますが、当院では習熟した技師がおります。

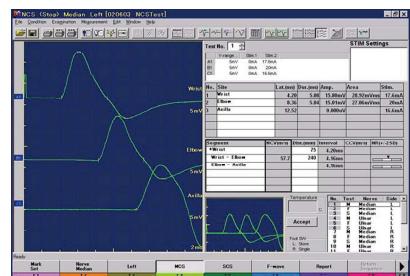


【4】反射機能検査

反射機能検査とは神経に刺激を加えて、応答する電気的波を調べる検査ですが、当院では顔面神経麻痺の予後を予測するのに役立つ眼輪筋反射の検査が多いです。



▲針筋電図



▲神経伝導速度

新任医師のご挨拶

腎臓内科部長 脊髄学会指導医・透析学会指導医 平川 亮

はじめまして。今年4月より、腎臓内科医師として当院に勤務しております。1993年に九州大学を卒業して以来、腎臓内科医として、福岡県内10施設を渡り歩いてきました。福岡市内では、九州大学病院、九州医療センター、福岡赤十字病院、白十字病院、福岡腎臓内科クリニック、浜の町病院、原三信病院に勤務し、クリニックから2次、3次病院まで、さまざまな形態の病院を経験してきたと自負しております。

しかし、無床のクリニックの経験はあっても、その他は急性期病院で働いてきており、当院のようなリハビリテーションを中心とする回復期の病院での勤務はじめてです。なれない面もあると思いますが、よろしくお願ひいたします。

いま、腎臓病、そして透析医療は、他の分野と同じく高齢化が著しい状態です。透析患者さんはその2/3以上が65歳以上の方です。

しかも、末期腎不全の原因も、糖尿病と動脈硬化によるものが多く、脳卒中、心臓病などをもった方が多くおられます。

また、透析患者さんの大腿骨近位部骨折発症率は一般住民とくらべて約5倍高く、骨折などで入院される方も大勢おられます。このような状況で当院のような病院の役割はますます重要になっていきます。その中で私も、微力ながら頑張りたいと思っております。

あらためてよろしくお願ひいたします。



新任医師のご挨拶

一般内科 医師 有田 康佑

この度、長尾病院へ医師として就職することになりました内科の有田と申します。

私は、福岡の出身ではありますが、大学は山形大学に入学し雪国で6年間過ごした後、千葉県の総合病院で初期研修を修了しました。

その後、結婚を機に福岡へ戻り、浜の町病院・九州大学病院・福岡赤十字病院を経てここ長尾病院へ赴任いたしました。

専門は内科で、その中でも特に感染症を専門としておりました。肺炎や尿路感染など比較的よく見られる感染症の他、化膿性脊椎炎などの深部の感染や梅毒、マラリアなど、やや特殊な感染症の治療に携わっておりました。実際の治療の他、抗菌薬適正使用の調査や院内感染防止など

の役割にも関わらせて頂いております。

私としても、初めて急性期病院以外の病院への赴任となり、慣れない事も多々あるかと思いますが、皆様の治療、リハビリテーションに少しでも力になれるよう努力してまいります。

趣味として、旅行・ドライブやスキーが好きな他、ダイビングも行います。

今後はゴルフも精進していきたいと思っています。

若輩者ではありますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



新任医師のご挨拶

リハビリテーション科 医師 野田 智秀

「はじめまして」

今年4月から長尾病院に勤務させていただいております。リハビリテーション科を主に担当させていただいております。福岡大学医学部を卒業後、2年間福岡大学病院での研修、福岡大学病院リハビリテーション科での勤務を経て、当院での診療に従事させていただく運びとなりました。

出身地は静岡県浜松市で自動車やオートバイの製造が盛んな地域です。大学入学から福岡に住み始め、現在10年ほどになります。学生時代は卒業後、地元に帰ることも視野に入れておりましたが、九州は食事が美味しい、特に本場のもつ鍋や水炊き、馬刺しなどは私の地元ではなかなか味わえないものです。私自身、食べ歩くことが趣味であり、学生時代に同級生も含め、かけがえのない多くの友人と出会うことができたため、福岡に長く住みたいと考え、福岡大学で医師としての人生をスタートすることとなりました。

「リハビリテーションの重要性」

我が国では高齢化にともない、人口の4人に1人が65歳以上となっており、今後もリハビリテーションの重要性は増していくものと思われます。



リハビリテーションにおいては患者さんが1日でも早く、そして可能な限りのADL回復が目標となります。そのためには患者さんの病状のみならず、家族構成や自宅の状況、職業なども含めた社会的背景も十分に考慮した上でリハビリテーションが重要です。

今後も病院および地域の方々のために貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

CTスキャナ更新のお知らせ

放射線科 スタッフ長 診療放射線技師 益子原 優子

当院では2008年から使用してきた8列CT装置を更新し、2019年3月末にCANON（キヤノンメディカルシステムズ（株）：2018年1月東芝から医療機器の事業部を取得し社名変更）製80列160スライスCTを導入いたしました。



▲ Aquilion lightning/ Helios Edition

CT検査とは、X線を身体の多方向から照射し、透過したX線の強さをPCで演算し、断層（輪切り）像を作り診断する検査です。

全身、どの部位でも精密な断層画像を撮ることができ、更に通常のレントゲンと違い臓器の重なりが問題になることがありません。

病的な部分をより詳しく調べたり、三次元的な画像を描出することで、解りづらい部位の骨折診断・血管の走行などの情報を容易に得ることも可能です。

当院の新装置では、以下のようなメリットがあります。

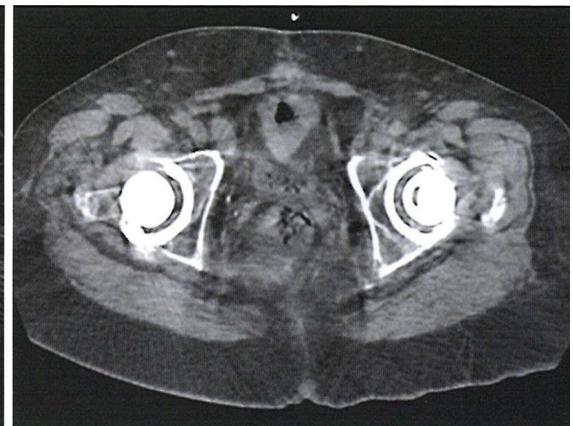
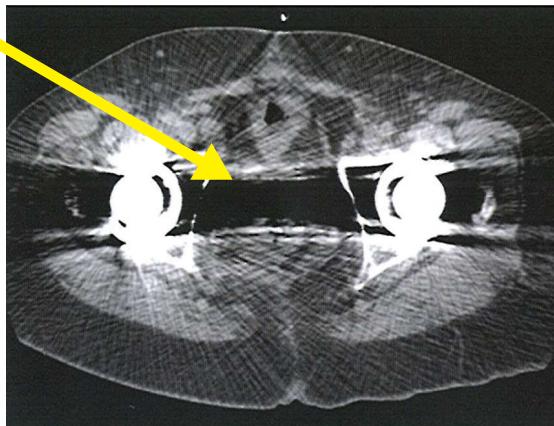
- 撮影スピードの向上により、従来20秒ほどの息止めが必要だった胸部の検査が約4秒の息止めで可能となり、患者様の身体的負担が大幅に軽減されました。
- 0.5 mmという非常に薄い厚みでデータ取得が可能なので、撮影スピードの向上と併せて4秒間に1280スライスという膨大なデータを取得し高精細な画像が描出できるようになりました。
- 逐次近似応用画像再構成という技術により、被爆線量が大幅に低減され、その他の機能と併用して最大で従来検査の75%低減効果が得られるようになりました。
- 金属アーチファクト除去の技術が採用されたため、人工関節などの金属による影響で見えなかったところまで確認できるようになりました。

従来の画像

機器更新後の画像

アーチファクト

実際の物体ではない2次的に発生した陰影



当院では、今回の新装置の導入により、短時間・低線量で患者さんの負担を軽減しつつ、高画質で様々な検査を提供いたします。

日本認知症ケア学会 大会参加記

老健センターながお 主任 作業療法士 梶原 治朗

第20回日本認知症ケア学会大会が、5月25日（土）～26日（日）の2日間、国立京都国際会館で開催されました。

認知症ケア学会は、認知症ケア専門士の資格を有する医療・介護分野の専門職が学会員（約3万5千人）として構成され、年1度の学術全国大会が開催されます。

「介護負担軽減に繋がるBPSD（認知症の行動・心理症状）の改善と認知症ケア1年間の追跡調査からみえてきたもの」という題目で、老健認知症専門棟の認知症ケアの成果について演題発表を行い、他施設や学術機関との貴重な意見交換の機会を得る事ができました。

学会参加で得る事ができた有意義な知見や情報を、今後も多職種協働による、より質の高い認知症ケアの実践に繋げていきたいと思います。



老健入所棟のリハビリスタッフ全員が 「認知症ケア専門士」に合格しました！

「認知症ケア専門士」とは、日本認知症ケア学会が認定する認知症ケアに対する介護福祉学・医学・看護学などの知識、高度の技術、及び倫理観を備えた専門家です。

そして我が国における保健・福祉に貢献することを目的としています。

「たんぽぽの会 会員募集」

長尾病院患者会「たんぽぽの会」 会長 山上 正則

たんぽぽの会は、平成6年に長尾病院の脳卒中患者会として発足し25年が経ちました。

現在では、会員の皆さんの高齢化と共に会員が15名程に減少してきました。従来、脳卒中患者を対象に運営していましたが、長尾病院グループに関係される様々なハンディをお持ちの患者さんやご利用者にも参加して頂けるよう幅広く会員の募集を行います。

活動目的

障がいがあっても積極的に社会参加するために、レクリエーション等を通じて親睦を図ります。

思いやりと互助の精神で可能な限り自立した在宅生活ができるよう努力します。

活動内容

健康勉強会・花見・バスハイク・障がい者スポーツ大会・グルメ会・総会ご家族も準会員として交流しています。

行事には安全のため、長尾病院から職員の方が支援されます。

申込み・お問合せ：長尾病院 在宅診療部 勝田

☎ 電話：092-541-2035



長尾病院外来担当一覧表

2019年7月1日現在

		月	火	水	木	金	土
	午前	有田・山内 福井	江崎・山内・山中 山内・山中	福井・久留島 有田	松浦・山内 江崎(予約)・野田	久留島・山内 山内	交代制
	午後						
糖尿病内科	午前	浅野・山内	山内 山内	浅野	山内	山内 山内	園木
腎臓内科 (生活習慣病等)	午前	服部	平川	服部	服部(予約)	服部	
午後							
内分泌内科 (甲状腺等)	午前	浅野・山内	山内 山内	浅野	山内	山内 山内	池之上
午後							
リウマチ科	午前	服部・浅山(予約)		服部・浅山(予約)	服部(予約)・浅山(予約)	服部	
午後							
内視鏡内科	午前			島岡	本多		
午後				笠・島岡	本多		
循環器内科	午前			有村			
午後				有村			
脳内科 (脳卒中等)	午前	服部	山中 山中	服部・久留島	薛	服部・久留島	
午後							
脳神経内科 (パーキンソン病等)	午前						
午後					井上		
脳神経内科 (頭痛・めまい・ふるえ・物忘れ等)	午前			福井		小西	
午後		福井					
リハビリテーション科 整形外科	午前	浅山(予約)		浅山(予約)	浅山(予約)		
午後							
リハビリテーション科 (高次機能障害等)	午前				服部(予約)		
午後		田川(予約)					
リハビリテーション科 (えんげ障害等)	午前				薛		
午後							
痙縮外来	午前						
午後				浅山(予約)		服部(予約)	
もの忘れ外来	午前						
午後						濱田(予約)	
フットケア外来	午前		適時ご希望により対応をさせていただきます。				
午後							

診療科目

- ◆内科 脳神経内科・神経内科・脳内科・循環器内科
血管内科・糖尿病内科・内分泌内科
腎臓内科・人工透析内科・胃腸内科
消化器内科・内視鏡内科・老年内科
- ◆リハビリテーション科 ◆整形外科 ◆リウマチ科

診療時間

午前 9:00 ~ 12:00 (受付 11:30まで)
 午後 13:00 ~ 17:00 (受付 16:30まで)
 [土曜日/午前中のみ]

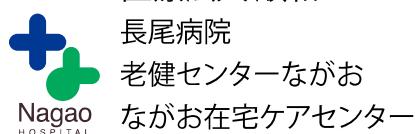
休診日

日曜・祝祭日・土曜日午後・盆休み (8月14日、15日)・年末年始 (12月30日~1月3日)



● 基本理念 「一人ひとりのライフステージに応じた 最良の医療・福祉を提供する」

■発行/ 医療法人 順和



所在地/〒814-0153 福岡市城南区樋井川13-47-1

電 話/092-541-2035 FAX/092-541-2045

ホームページ/ <http://www.nagao.or.jp>

長尾病院

検索

◎誌面へのご意見・ご要望は長尾よかだより編集委員会までお寄せください。